



パック連通信

事務局：山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.117 2021年6月10日発行
全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

パックマーク促進協総会 オンライン開催

去る6月7日、牛乳パック再利用マーク普及促進協議会の令和3年度第10回定時総会をオンラインにて開催いたしました。

昨年度はコロナの影響で書面総会といたしました。今年度は新規事業計画の提案もあることから、会員各位の承認をいただくために、経緯の説明をしっかりと行う必要があり、ZOOMでのオンライン開催といたしました。



事務局と記録者3名は都内の会議室にて

今回のオンライン総会には、丸富製紙(株)の佐野社長様をはじめ、例年遠路のため、また業務でオフィスを離れることができず出席いただけなかったメーカー・団体様にもご参加いただきました、大分製紙(株)の田北社長様も久しぶりの対面で、冒頭に顔を見せて下さいました。リモートは便利な機能であるため、コロナが終息したのちも総会会場に足を運んでいただく以外にリモート参加の形態も継続していきたいと思いをいたしました。

パックマーク促進協としては、令和2年度に予定していた事業がコロナのため大半が中止となり、思うような活動ができませんでした。例えば、オリンピック開催に向け海外から来日する人の増加を見越して、英文パンフレットを作成し、エコプロダクツ2020で配布するという計画は、オリンピックの延期及びエコプロダクツ2020の会場開催中止により頓挫したことなど総会で報告いたしました。

パックマーク促進協としては、令和2年度に予定していた事業がコロナのため大半が中止となり、思うような活動ができませんでした。例えば、オリンピック開催に向け海外から来日する人の増加を見越して、英文パンフレットを作成し、エコプロダクツ2020で配布するという計画は、オリンピックの延期及びエコプロダクツ2020の会場開催中止により頓挫したことなど総会で報告いたしました。

一方コロナ禍においても、市民発のシンボルマークである「牛乳パック再利用マーク」は26の刊行物等に掲載、紹介されました。進研ゼミの学習資料「チャレンジ4年生」や、板橋区や文京区の副読本には毎年掲載されておりますし、またSDGs関係の4書籍からも掲載依頼があり、認知度の高いマークとなっています。

反面、パックマーク商品が見つからないという問い合わせを良く受けていることから、令和3年度は牛乳パック再生品へのマーク掲載の協力を再度メーカー様にお願いしていきたいと考えています。

さらに啓発活動として、小学校を対象とした牛乳パックリサイクル出前授業を全国パック連との共催で実施していくことや、各地で混乱をきたしている学乳パックのリサイクル推進活動に予算を割きたい旨、総会にて提案したところ承認をいただくことができ、第10回定時総会は無事終了いたしました。

共催 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

牛乳パックリサイクルの 出前授業いたします

全国各地の学校で現在、学校給食用牛乳パックをはじめとした牛乳パックリサイクルが進められています。回収を始めるにあたって、総合学習の時間の中で、牛乳パックリサイクルを環境教育の教材に取り上げる学校も増えております。
 牛乳パックはリサイクルが始まった経緯が、ほかの容器と比べて特徴があり、また原料である森林資源の管理状況、製造方法、容器のリサイクル資源としての価値など、いろいろな角度から学ぶことができる材料です。
 しかしながら、リサイクル率は40%程度と他の容器と比べて低いのが現状です。
 そこで、牛乳パックリサイクルに対して関心をもっていただくために、出前授業を実施しております。資料や体験コーナーに必要な材料、道具もこちらで用意いたしますので、学校の環境教育に出前授業をどうかご活用下さい。

主な内容

- 牛乳パックの原料である計量樹林の森林管理の様子（北アメリカや北欧の森林の図解など）
- 牛乳パックリサイクルはこうして始まった
- （もの事の大切さを伝えるためのお母さん達の実践活動）
- リサイクルのしくみ
- いろいろなものに再生されている牛乳パック
- 牛乳パックリサイクルしないもったいないDVD上映
- 体験コーナー

世界でたった1粒！オリジナル筆すきはがきづくり
 （*コロナ中は、牛乳パック取り返しはなし他）

お問い合わせ・お申し込みは
 全国パック連事務局まで
 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会
 TEL. 0554-22-3611 / FAX. 0554-56-9216
 〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10

お申し込みの際、以下の事項にご留意下さい。
 ・対象人数：1クラス単位
 ・対象エリア：関東圏内
 ・学校のホームページを閲覧した履歴も可能です

牛乳パックリサイクル出前授業申し込み書 FAX 0554-56-9216

| | | | | |
|--------|---|-------|------|-----|
| 住 所 | 〒 | ご担当者名 | TEL | FAX |
| 学校名 | | | | |
| TEL | | | | |
| E-mail | | ご希望時期 | 月 | 日 |
| | | | 対象学年 | 年 人 |

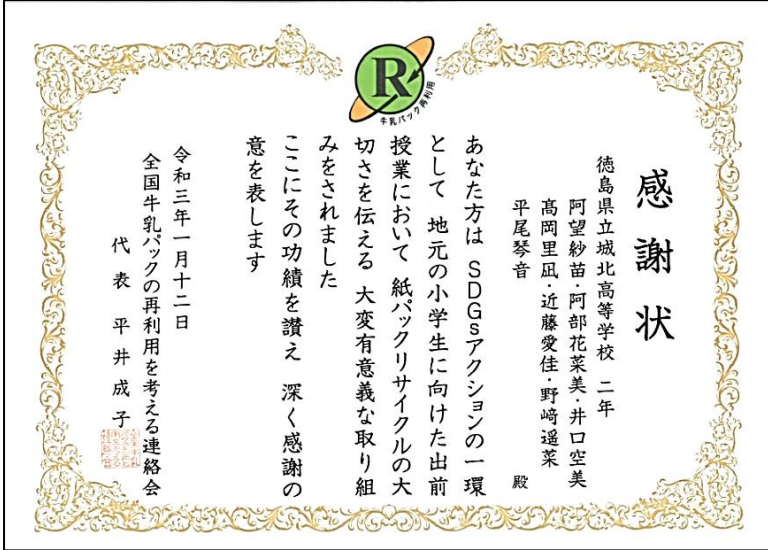
パック連とパックマーク促進協共催のチラシを HP にアップしました

徳島県立城北高校に感謝状を贈呈

徳島県立城北高校は、同県内のパルプメーカー日誠産業株式会社(パックマークメーカー)と連携して、地元の小学生に牛乳パックリサイクルをテーマとした出前授業を実施しました。

その素晴らしい取り組みに敬意を表して、パック連より感謝状を贈らせていただきました。

賞状は紙好き交流センターの紙パックを再生した手すき紙で、印刷も手掛けていただきました。



2020年度城北高校ではSDGsアクションの取り組みの一環として、1・2年生468名が個々で探求テーマを決めて、それに向け目的は何か、方法論、どう行動したか、そして結果についての考察を行った論文集を発行しています。

コロナ感染拡大の影響を多々受ける中、「探求を止めるな！」を合言葉にコロナに負けることなく、生徒たちは探求活動を止めなかったということです。

この活動を通して、紙パックのリサイクルに関心を持った生徒さん達が、日誠産業に訪問し知識を深める中で、もっと広く紙パックリサイクルについて知ってもらいたいと考え、日誠産業とコラボして出前授業を行ったとのことでした。

調査だけで満足し終わるのではなく、行動し、具体的な実践につなげていることが本当に素晴らしく、パック連が出前授業を始めたきっかけとまさに同じで、大変共感いたしました。

高校生活を終えて、大学へ行っても、社会に出たりしても、日々の中で牛乳パックリサイクルの意義を忘れずにいて欲しいと願います。

高校生とのコラボによって、日誠産業さんもより学乳パックリサイクルの推進を図ろうと、行動を起こして下さっていて、「学乳パックリサイクルの安定・継続的な仕組みを目指すには、ステークホルダーの役割分担が不可欠」と、各機関の説得に乗り出しています。

パック連も微力ではありますが、パックマーク促進協の協力を得ながら、学乳パックリサイクルの啓発に尽力していきたいと考えております。

| | |
|--|---|
| <h3 style="text-align: center; border: 1px solid black;">紙パックのリサイクルについての論文</h3> <p>結果をより多くの人に広めるべきだと考え企業とコラボして小学校に出前授業に行ったり、アンケートをとって調査をしたりした。</p> <p>1. 序論 先にご「日誠産業」さんを紹介されたのがきっかけである。牛乳パックのリサイクル業者の現状について興味があったから調べた。また、リサイクルの仕組みについて多くの人に知ってもらえるよう、宣伝方法を考えた。</p> <p>2. 方法 2月の8月、日誠産業さんにアが依頼で、フィールドワークに行った。そして日誠産業さんやSDGsアクションの人とコラボして小学校へ出前授業にも行った。さらに、インターネットを使用して牛乳パックのリサイクル問題についての動画撮影などを任せ、授業を行った。</p> <p>3. 結果 (1) 動画撮影の準備 →動画撮影の準備 (2) 自分たちで考えた動画を、リサイクル業者さんに送った。 (3) 子供たちへの動画配布を受けた。 (4) アンケートと感想をもらった。</p> <p>→アンケート結果 (1) 牛乳パックをリサイクルしたことがありますか？ はい70人、いいえ42人 (2) 自分たちがリサイクルをしたことがありますか？ はい100人、いいえ2人 (3) 感想を聞かせてください。 文化祭で探求テーマを披露して、日誠産業さんやパック連から牛乳パックのリサイクルについての記事をもらった。(※右側参照) 4. 考察</p> | <h3 style="text-align: center; border: 1px solid black;">学校給食の牛乳パック大量廃棄問題についての論文</h3> <p>牛乳パックについて調べた中で、学校給食の牛乳パックに関する大量廃棄問題について調べたことになった。またこの問題が深い情報と、解決に向けて的を得た方法を自分たちで探るために、日誠産業さんにフィールドワークに行ったインターネットを使って調査を行った。</p> <p>1. 序論 日誠産業さんに依頼した時、学校給食の牛乳パックにもリサイクル期間で廃棄可能なものがあることを知り、可能なものは廃棄することを考えることになった。廃棄可能なものを廃棄することで廃棄物の量を減らすことができると考えた。また、多くの牛乳パックのリサイクルをして貰えるように、地元の小学校へ出前授業を行った。</p> <p>2. 方法 自分たちで考えた動画を、牛乳パックからリサイクルされた商品や、牛乳パックの正しい使い方を紹介。 ①子供たちからの感想 ②アンケート結果 ③アンケート結果 ④アンケート結果</p> <p>3. 結果 自分たちで考えた動画を、牛乳パックからリサイクルされた商品や、牛乳パックの正しい使い方を紹介。 ①子供たちからの感想 ②アンケート結果 ③アンケート結果 ④アンケート結果</p> <p>4. 考察 自分たちで考えた動画を、牛乳パックからリサイクルされた商品や、牛乳パックの正しい使い方を紹介。 ①子供たちからの感想 ②アンケート結果 ③アンケート結果 ④アンケート結果</p> |
|--|---|

徳島県立城北高校 2020年度探求活動論文集より抜粋

2020年度の活動実績と今年度の活動予定について、以下の通りご報告いたします。

2020年度全国パック連活動報告

1 広報活動

- ・パック連通信発行2回
- ・ホームページの随時更新

2 容環協連携事業

- ・牛乳パックリサイクル出前授業の実施—1校 横浜市立上星川小学校
- ・紙パック回収システム強化研究会オンライン開催—1回
- ・紙パック回収ありがとうキャンペーンの実施
- ・紙パックリサイクル啓発動画「牛乳パックリサイクルしないともらえない」の制作
- ・紙パックリサイクルほんとのほなし増刷 10,000部
- ・リサイクルありがとうチラシ増刷 20,000枚
- ・もらえないものがたり増刷 10,000部

3 牛乳パック再利用マーク普及活動

- ・書籍等へのパックマーク掲載依頼対応

4 その他

- ・岩手、宮城、福島3県の東日本大震災による被災孤児支援窓口への寄附
- ・令和2年7月豪雨災害義援金（熊本県・福岡県）への寄附
- ・古紙再生促進センター主催「紙リサイクルセミナー」にて紙パック回収状況を報告

2021年度全国パック連活動計画

1 広報活動

- ・パック連通信の発行、ホームページの随時更新

2 啓発活動

- ・牛乳パックリサイクル出前授業及び講習会の実施
- ・学乳パックリサイクルの推進

3 牛乳パック再利用マーク普及活動

- ・牛乳パック再利用マーク普及促進協議会総会の開催
- ・パッカーマーク普及用オリジナルトイレットペーパーの制作

4 その他

- ・オンラインによる情報交換会等を随時開催

2015年国連持続可能な開発サミットで採択されたSDGsに向け、国際社会は大きく動いています。日本国内においても、企業活動の取り組みのテーマとして掲げられていたり、学校現場での学習の対象となったり、また、金融機関でもSDGs事業を展開するファンドへの投資商品を扱うようになるなど、着実に動きを見せております。

牛乳パックリサイクルはゴール12「つかう責任、つくる責任」の中の5番目に掲げられている目標に沿った実践活動です。このことを踏まえて、パック連は今年度の活動を展開していきますので、ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。



その他のNEWS

Honda 環境の学校のエコラベル特集にパックマーク掲載

Honda は社会の一員として、環境への負担を減らすクルマづくりや地域の人たちとの森や海を守るなど環境保全活動に取り組む中で、WEB サイト「Honda 環境の学校」を通して子どもたちに、自然を学ぶ機会を提供しています。

このたび公開されたエコラベル特集の中で、牛乳パック再利用マークも紹介されていますので、アクセスしてみてください。

企業による環境活動の輪はますます広がりを見せています。



https://www.honda.co.jp/philanthropy/contents/special/column/kankyo_school/feature/ecolabel.html

学乳パックリサイクル情報交換会をオンラインにて実施

5/27 に、日誠産業(株)とパック連の呼びかけで、関西ミルクロードに加盟している回収グループ、福祉事業所関係者と、大阪府内の学乳パックリサイクルについてオンライン情報交換を行いました。

参加団体は、紙好き交流センター・尼崎パツクルネット・NPO 法人摂津人材サポートビューロー・(社福) 桃花塾・(一社) 吹田市障がい者の働く場事業団、日誠産業からは経営企画本部の坂東部長、パック連は3名参加しました。

情報交換を通して、乳業メーカーの学乳パックの引き取り停止のため、自治体が回収協力の打診をしているが、ただし洗ってない学乳パックの回収だったり、回収費用は出なかったりと条件が悪く、とても引き受けられる内容ではないことがわかりました。

福祉事業所と連携したリサイクルシステムの構築は、いろいろとハードルがあり実現が難しいですが、各団体とも徳島県内で学乳パックリサイクル促進の実績のある日誠産業との情報交換は、継続していきたいとのことでした。

またコロナ禍で、なかなか会えることのできなかつた皆さんと久しぶりに顔合わせができ、こうした機会を作ってくださった日誠産業の坂東部長に感謝いたします。

紙パックの環境メッセージの広報欄

この広報欄は 2003 年に北米のペーパーボード工場に容環協と共に視察に行き、森林管理がきちんとなされている状況を直接確認したことから、消費者に広く伝えるべく当時の容環協役員のはたらきかけにより掲載されるようになりました。そのころは多数の紙パックに掲載されていましたが、最近ほとんど見かけなくなった中、雪印メグミルクのコーヒー牛乳や協同乳業の牛乳に掲載されているのを見つけました。紙パックの回収率が減少の一途をたどっている現在、乳業・飲料メーカーは積極的に広報欄を活用しリサイクルを呼びかけるべきではないでしょうか。



◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.0554-22-3611

FAX.0554-56-9216

E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org>

〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10